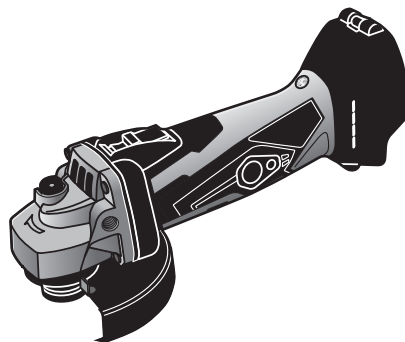


マックス 充電式ディスクグラインダ

PJ-DG101

取扱説明書

プロ用



警告

- 使用前に取扱説明書を読む。
- 使用の際は、作業者及びまわりの人も必ず保護メガネを着用する。
- 揮発性可燃物や引火のおそれがある物のそばでは絶対に使用しない。
- 雨の中、水のかかる場所では使用しない。
- 濡れた手で絶対に触れない。
- エンジン発電機や直流電源では絶対に充電しない。
- 使用中は、回転部や切りくずなどに手や顔などを絶対に近づけない。
- 使用時以外は絶対にスイッチに指をかけない。
- 移動時、本体の調整・修理・刃物などの交換時は、必ずスイッチを切り、本体から電池パックを外す。
- 長時間使用しない時は、充電器の電源プラグを必ずコンセントから抜く。
- 夏季の自動車の車内や直射日光の当たる場所など、高温になる場所に放置、保管しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。
- 本機を絶対に分解・改造しない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるように保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

* 便利メモ

お名前		商品名	PJ-DG101
お買い上げ日	年 月 日	製造番号	
販売店名		☎ ()	-

このたびは、マックス充電式ディスクグラインダをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

■表示の意味について

ご使用上の注意事項は、 **警告**、 **注意**、 **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。




警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意



：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

：製品、付属品の取り扱い及びメンテナンスなどに関する重要なお注意。

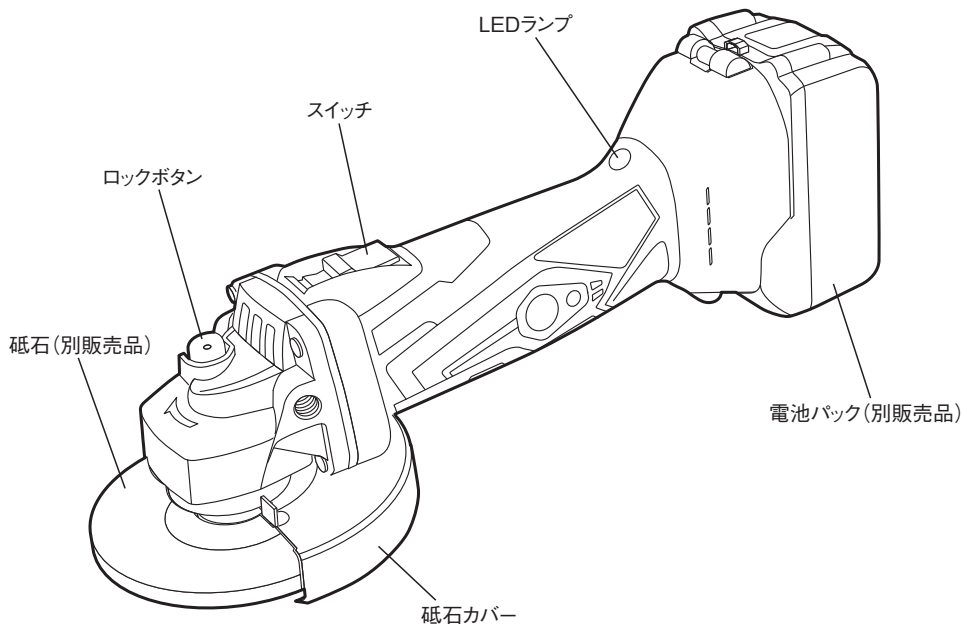
目 次

1. 各部の名称及び付属品	1
2.  安全上のご注意	2
3.  充電式ディスクグラインダの安全上のご注意	10
4. 仕様及び付属品・別販売品	12
5. 電池パックと充電器の使い方	14
6. 使用方法	24
7. 性能を維持するために	33
8. 保証、アフターサービスについて	35

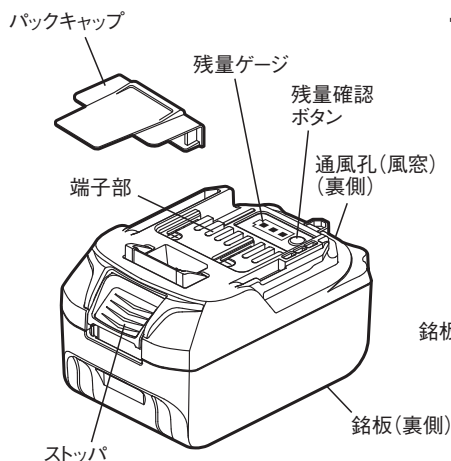
全国販売拠点、サービス拠点一覧

1 各部の名称及び付属品

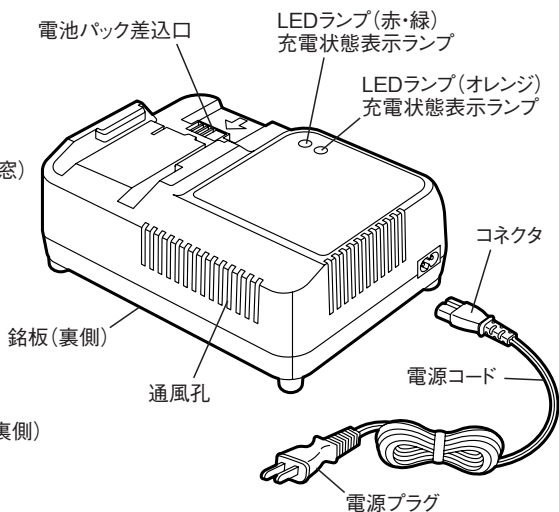
〈本体〉



〈電池パック〉 別販売品
リチウムイオン電池パック (JP-L91850A)



〈充電器〉 別販売品
リチウムイオン急速充電器 (JC-925)



2

▲安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

▲警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 専用の充電器や電池パックを使用する。

- ・指定以外の充電器で電池パックを充電しないでください。
- ・指定した電池パック以外は充電しないでください。
指定以外の充電器で充電することは、充電できないばかりか、破損したり、発火・発熱の恐れがあります。

2. 正しく充電する。

- ・この充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。充電器の故障の原因や異常発熱により火災の恐れがあります。
- ・温度が5℃未満、又は温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。
- ・電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・使用しない場合は、電源コードをコンセント及び充電器本体から抜いてください。感電や火災の恐れがあります。
- ・充電器の通風孔や電池パック装着口に異物を入れないでください。感電や故障の原因になります。

3. 電池パックの端子間を短絡（ショート）させない。

- ・電池パックの端子に金属を接触させたり、釘など金属が入った工具箱や釘袋などに入れたり、雨や水に濡らしたりすると、短絡（ショート）して発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

4. 感電に注意する。

- ・濡れた手で充電器本体、コネクタ、電源コード、電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。

！ 警告

5. **作業場の周囲状況も考慮する。**
 - ・ 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、又は濡れた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災の恐れがあります。
6. **電池パックを火中に投入しない。**
 - ・ 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。
7. **ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しない。**
 - ・ 爆発や火災の恐れがあります。
8. **火災の恐れがありますので次のことをしない。**
 - ・ 段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニール等の上では、充電しないでください。
 - ・ 通風孔（風窓）のある充電器は、充電中に通風孔をふさがないでください。また通風孔に金属類・燃えやすい物を差し込まないでください。
 - ・ 綿ほこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
9. **電池パックの液が漏れた時は、素手で液をさわらず、以下の処置をする。**
 - ・ 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、医師にご相談ください。
 - ・ 液が体や衣服に付くと、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流した後、医師にご相談ください。
 - ・ 液漏れした電池パックは、直ぐに使用を中止し、火に近づけないようにしてください。
 - ・ 直ぐにマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)にお買い上げの販売店を通じてご相談ください。
10. **使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しない。**
11. **充電中、発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて充電を中止する。**
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
12. **異常を感じたら絶対に使用しない。**
 - ・ 充電器や電池パックの異常を感じたら、ただちに使用を中止し、電池パックと充電器を一緒に、十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)にお買い求めの販売店を通じ点検をお申し付けください。

▲警告

13. 充電器の電池パック装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけない。
14. 充電器は充電以外の用途に使用しない。
15. 密閉された狭い場所で使用しない。
 - ・ 発煙、発火、破裂の恐れがあります。
16. 電池パックを使用しない時は、必ずパックキャップをかぶせる。
17. 充電器を使用しない時はコンセントから電源コードを抜く。
18. 保護メガネを使用する。
 - ・ 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。飛散する切り粉や粉じんなどが目や鼻に入る恐れがあります。
19. 保護具を着用する。
 - ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）など防音保護具を着用してください。
 - ・ 作業時はヘルメット、安全靴などを着用してください。
20. 加工するものをしっかりと固定する。
 - ・ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。
21. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜く。
 - ・ 使用しない、又は修理する場合。
 - ・ 本機の調整をする場合。
 - ・ 刃物、ビット、ソケットなどの付属品を交換する場合。
 - ・ その他危険が予想される場合。
 - 不意に充電工具が作動して、事故やけがの原因になります。
22. 不意な始動は避ける。
 - ・ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・ 電池パックを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。不意に充電工具が作動して、事故の原因になります。
23. 指定の付属品やアタッチメントを使用する。
 - ・ この取扱説明書、及び当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。事故やけがの原因になります。

▲ 警告**24. 異常を感じたら絶対に使用しない。**

- ・ スイッチが入らない、回転が止まらない、本機が高温になる等、作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理なさらないで、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。そのまま使用を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

▲ 注意**1. 作業場は、いつもきれいに保つ。**

- ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

2. 子供を近づけない。

- ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
けがの原因になります。

3. 使用しない場合は、きちんと保管する。

- ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
- ・ 充電工具や電池パックを温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
電池パック劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

4. 充電器は、注意深く手入れをする。

- ・ 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、直ぐに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理なさらないで、電池パックと充電器と一緒に、本機の性能回復に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)にお買い求めの販売店を通じてお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ・ マックス指定の純正電源コード以外は使用しないでください。満足な性能が得られないばかりか、感電やショートして発火する恐れがあります。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

▲注意

5. 充電器のコードを乱暴に扱わない。

- ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
- ・充電器の保管時や充電工具のケースへの収納時には、電源コードのコネクタを抜いた状態で保管してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

6. 損傷した部品がないか点検する。

- ・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。

7. 充電器の修理は、専門店に依頼する。

- ・サービスマン以外の方は、充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理、メンテナンス、調整は、純正部品以外は使用しないでください。
- ・充電工具、充電器、電池パックが熱くなったり、異常に気付いた時は、直ぐに使用を中止し、電池パックと充電器と一緒に、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)に、お買い求めの販売店を通じて点検・修理をお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないばかりでなく、事故やけがの原因になります。

8. 無理して使用しない。

- ・安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
- ・モータがロックするような無理な使い方はしないでください。

9. 作業に合った充電工具を使用する。

- ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- ・指定された用途以外に使用しないでください。
- ・充電工具の最大能力を超えた作業はしないでください。
けがの原因になります。

▲注意

10. きちんとした服装で作業する。

- ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

11. 充電工具は、注意深く手入れをする。

- ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、直ぐに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、本機の性能回復の為に充分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。
けがの原因になります。

12. 無理な姿勢で作業をしない。

- ・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。

13. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外す。

- ・ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外しであることを確認してください。付けたままですと、作業時に外れてけがの原因になります。

14. 屋外使用に合った延長コードを使用する。

- ・ 屋外で充電する場合は、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

▲注意

15. 油断しないで十分注意して作業を行う。

- ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・ 常識を働かせてください。
- ・ 疲れている場合は、使用しないでください。
軽率な行動や非常識な行動などすると事故やけがの原因になります。

16. 無理な押し付けや砥石がロックするような高負荷状態で使用しない。

- ・ 研削、切断時に高負荷作業や強く押し付けすぎるとモータに高い負荷がかかり、ギアケースカバー部やグリップ（ブラシ）が高温になることがあり、やけどや本体故障の原因になります。

17. 損傷した部品がないか点検する。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整、及び締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、決してご自分で修理をなさらないで、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。
- ・ スイッチで始動、及び停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。

▲注意

18. 充電工具の修理は、専門店で依頼する。

- ・ サービスマン以外の人は、充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ・ 充電工具、充電器、電池パックが熱くなったり、異常に気付いた時は、マックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へお買い求めの販売店様を通じて点検・修理に出してください。
- ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理、メンテナンス、調整は、純正部品以外は使用しないでください。
- ・ 修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないばかりでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

・ 騒音防止規制について

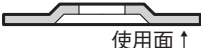
騒音に関して、法令や各都道府県などの条例で定める規制があり、規制値以下でご利用になる必要があります。状況に応じて遮音壁を設けるなどしてご利用ください。



▲ 充電式ディスクグラインダの安全上のご注意

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式ディスクグラインダとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

▲ 警告 (特にディスクグラインダに関するもの)

1. ホイールガードは、必ず取り付ける。
 - ・ 砥石が破損したとき、けがの原因となります。
2. 使用するディスクは、最高使用周速度 (4,300m/min 72m/s) 以上の正規の砥石を取り付け、正しい使用面で研削する。側面や上面では、研削しない。
 - ・ 正規以外の砥石を使用したり、また側面や上面で、使用すると、砥石が破損し、けがの原因になります。
3. 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用する。
 - ・ 異常があると、砥石が破壊し、けがの原因になります。
4. 使用中は、振り回されないよう本体を確実に保持する。とくに始動時は気をつける。サイドハンドルを取り付ける場合は、しっかりと取り付ける。
 - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
5. 水、研削液などは使用しない。
 - ・ 乾式用のため、砥石の破壊によるけがや感電の恐れがあります。
6. 上向き (定置形) にして使用しない。
 - ・ 砥石が破壊したとき、けがの原因になります。
7. 使用中は、回転部や切りくずに手や顔などを近づけない。
 - ・ けがの原因になります。
8. 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざける。また、研削火花を直接手足などに当てない。
 - ・ 火災やけがの原因になります。
9. 砥石を用いて切断作業をする場合は、必ず専用の切断砥石用ホイールガイド、及びフランジを取り付けて使用する。
 - ・ 砥石が破損し、けがの原因になります。
10. 回転させたまま、台や床などに放置しない。
 - ・ けがの原因になります。
11. 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、又はマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)に点検・修理を依頼する。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。

▲ 警告 (特にディスクグラインダに関するもの)

12. 誤って落としたり、ぶつけたときは、砥石や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検する。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
13. [事業所の方へ] 砥石の取り替え・試運転は法・規則で定める特別教育を受けた人に行なわせる。

関連法令	労働安全衛生法	第 59 条
	労働安全衛生規則	第 36 条
	労働安全特別教育規程	第 1 条、第 2 条

▲ 注意 (特にディスクグラインダに関するもの)

1. 工具類 (砥石) や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付ける。
 - ・ 確実にないと、はずれたりして、けがの原因になります。
2. 新しい砥石を取り付け、初めてスイッチを入れるときは、回転面から一時身体を避ける。
 - ・ 砥石が破損したとき、けがの原因になります。
3. 試運転を励行する。
 - ・ 試運転時間は砥石交換のとき……3 分以上
その日の作業初めのとき………1 分以上
 - ・ 試運転せずに作業を開始すると、思わぬけがの原因になります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認する。
 - ・ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
5. 用途以外の刃物 (丸のこ刃、チップソーなど) での切断作業はしない。
 - ・ 丸のことしての保護装置がなく、けがの原因になります。

4 仕様及び付属品・別販売品

〈本体〉

商 品 名	マックス 充電式ディスクグラインダ
商 品 記 号	PJ-DG101
砥 石 径	(外径) 100 mm × (穴径) 15 mm
定 格 速 度	10,000 min ⁻¹
電 圧	DC 18V
使用電池パック	JP-L91850A
充 電 器	JC-925
本 体 寸 法	264×118×129 mm
質 量 * 1	1.4kg

*1 砥石カバーを含む、電池パック(PJ-L91850A)除く
(使用可能な砥石の厚みは6mmまでです。)

〈充電器〉別販売品

商 品 名	マックス リチウムイオン急速充電器
商 品 記 号	JC-925
電 源 (入 力)	AC 100V 50/60Hz 290VA
充電電圧/電流(出力)	DC 14.4V/7.5A DC 18V/5.4A DC 25.2V/4.5A
質 量	1.4kg
使用温度範囲	5℃～40℃
冷 却	ファン付
付 属 品	電源コード (2Pメガネ型プラグ)

・ 上記仕様は改良の為、主要機能及び形状等が変更されることがありますのでご了承ください。

〈電池パック〉別販売品

商 品 名	マックス リチウムイオン電池パック
商 品 記 号	JP-L91850A
電 池 種 類	リチウムイオン電池
電 圧	DC 18V
公称容量(定格容量)	5.0Ah (4.9Ah)
充 電 時 間 (周囲温度 25℃時) (充電器 JC-925使用)	実用充電 約55分 (容量の約90%) 満充電 約65分 (容量の約100%)
付 属 品	パックキャップ〔短絡(ショート)防止用〕
質 量	0.6kg

・ 上記仕様は改良の為、主要機能及び形状等が変更されることがありますのでご了承ください。

〈付属品〉

- カニメスパナ

〈主な用途〉

- 溶接の研削、仕上げ、サビ取り
- 鉄、青銅、アルミ鋳物などのバリ取り、仕上げ、サビ取り
- 金属(鉄、ステンレスなど)の切断

注

- マックス 14.4V 電池パック JP-L91440A、JP-L91430A、JP-L914 が取り付け可能ですが、本製品仕様の能力はできませんのでご注意ください。

5 電池パックと充電器の使い方

⚠ 警告

●指定電圧で充電する。

必ず AC100V のコンセントより充電してください。指定電圧以外の充電は故障の原因となるだけでなく危険です。

●エンジン発電機や直流電源では絶対に充電しない。

故障の原因となるだけでなく異常に発熱し、火災の恐れがあります。

●正常なコンセントを使う。

充電器の電源プラグを差し込んだ時に、ガタがあったり、すぐに抜けたりするコンセントをそのまま使うと加熱による事故の原因になります。このような時は、別の正常なコンセントをお使いください。

◆充電方法

※お買い上げ時の電池パックについて

お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。

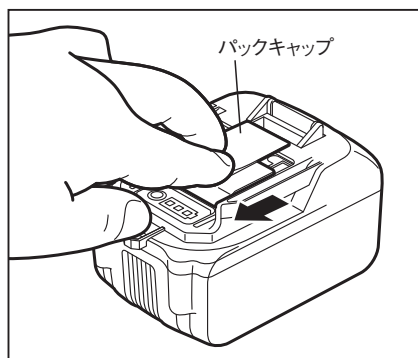
⚠ 警告

●お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていませんが、本機に取り付け、スイッチ操作すると作動する恐れがあるので注意する。

●電池パックを本機に取り付け、取り外しをする前に、必ず本機のスイッチがロックされていることを確認する。

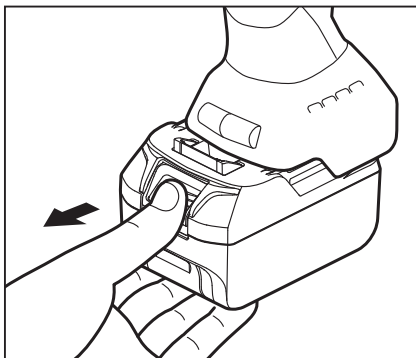
〈急速充電〉

- ①電池パックの端子部にかぶせてある短絡（ショート）防止用のパックキャップを外してください。



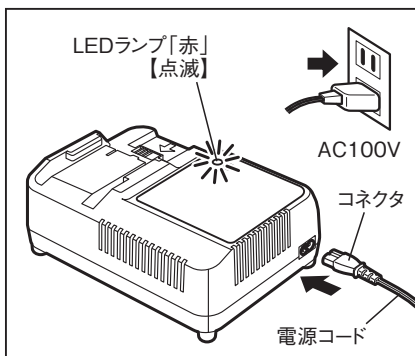
一度使用されて電池パックを本機に取り付けている場合は、本機より電池パックを取り外します。

(P24 電池パックの取り外し方 参照)



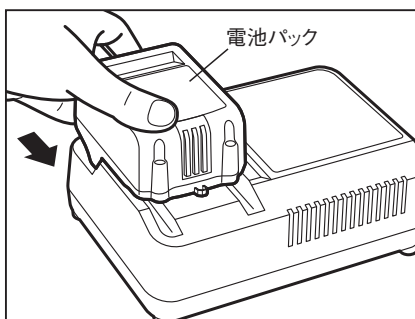
② 充電器の電源コードのコネクタを充電器本体に差し込み、電源プラグを AC100V のコンセントに差し込んでください。

※この際に、充電器本体のコネクタ接続部分にゴミ等の異物がないことを確認してください。LED ランプ「赤」が点滅し、電子ブザーが 2 回「ピ、ピ」と鳴り、通電状態をお知らせします。



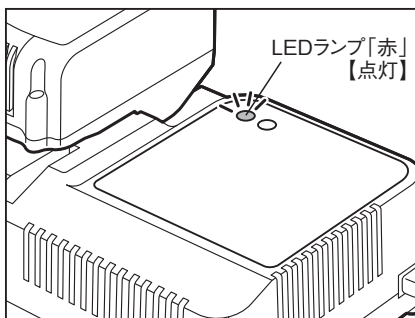
③ 電池パックを充電してください。

1. 電池パックを充電器の電池パック装着口の奥にあたるまでしっかりとスライドさせます。



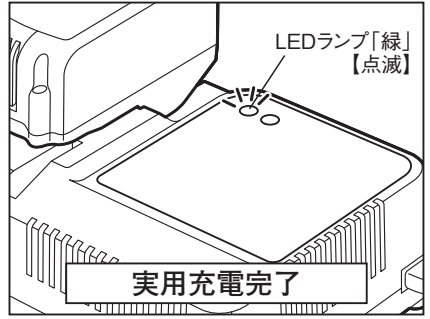
2. 電池パックを充電器にセットすると、自動的に充電を開始します。

LED ランプ「赤」が点灯し、電子ブザーが 1 回「ピ」と鳴り、充電中をお知らせします。

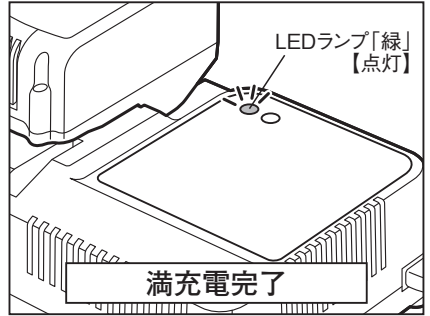


3.LED ランプが「赤」から「緑」の点滅に変わったら実用充電完了です。

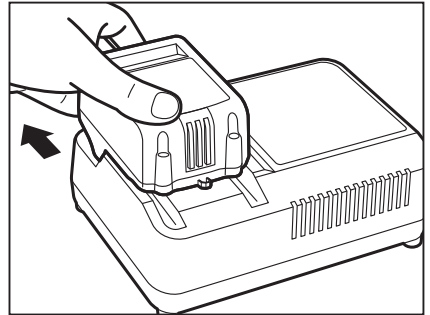
LED ランプ「緑」が点滅し、電子ブザーが「ピー」と約 2 秒鳴ります。この状態で電池パックの容量の約 90%充電されています。実用充電時間は約 55 分です。(充電時間・充電容量は、気温や電源電圧により多少変動します。)



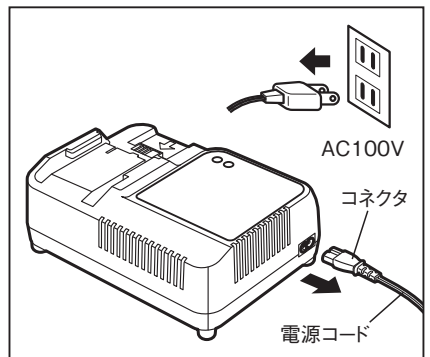
実用充電が完了したら使用できますが、そのまま電池パックを抜かないでくと、残りの容量を充電し続け、LED ランプ「緑」が点灯（電子ブザーが「ピー」と約 2 秒鳴ります）になれば満充電完了（容量の約 100%）です。



④充電が完了したら電池パックを充電器から抜き取ってください。




⑤電源コードの電源コネクタをコンセントから抜き、コネクタを充電器本体から抜いてください。



◆充電時の充電器のランプ表示について



赤 / 緑 オレンジ

 赤点滅	 消灯	充電器通電	通電し、充電開始できる状態です。
 赤	 消灯	急速充電中	急速充電中です。
 赤	 オレンジ	ソフト充電中	低温時等に電池の劣化を防ぐ充電を行っています。
 緑点滅	 消灯	実用充電完了	容量の約90%の充電が完了しました。
 緑	 消灯	満充電完了	満充電が完了しました。
 消灯	 オレンジ	待機中	低温もしくは高温の為、充電待機中です。
 消灯	 オレンジ点滅	充電不可	電池パックもしくは充電器に異常があります。

注

● LED ランプ「赤」と「オレンジ」が点灯した場合：ソフト充電中

- ・ 低温時（約 10℃以下）は、充電器・電池パック保護のためソフト充電になり、充電時間が長くなります。
- ・ 電池パックの温度が上がると通常の急速充電へと切り替わりますが、切り替わる時間は外気温によって差があります。

● LED ランプ「オレンジ」が点灯した場合：待機中

電池パックが高温の場合

電池パックが熱を持っている時（例：工具の連続使用直後や、電池パックを直射日光の当たる所に長時間放置した後など）は、充電器にセットしても電池の保護のため、電池パックの温度が下がるまで充電を自動的に待機します。電池パックの温度が下がると、自動的に充電がスタートします。

電池パックが低温の場合

電池パックが低温の場合、充電器にセットしても電池の保護のため、電池パックの温度が上がるまで充電を自動的に待機します。電池パックを室内など常温の場所にしばらく置いてから再度充電してください。

電源状態が異なる場合

電源電圧が極端に低かったり高かったりした場合、充電器回路保護の為待機中となり充電を開始しません。発電機や延長コードの使用をやめ、電源状態を改善してください。

● LED ランプ「オレンジ」が点滅した場合（電子ブザーが「ピ・ピ・ピ…」と約 10 秒鳴る場合）：充電不可

充電できない状態です。この場合は、まずコンセントから電源プラグを抜きます。そして充電器から電池パックを抜き、以下の確認をお願いします。

異物の確認

電池パック・充電器の端子部に異物が入っていないか確認してください。もし、異物が入っていたら柔らかいものなどで異物を取り除いてください。

電源状態の確認

電源電圧が高すぎたり低すぎたりする場合、充電器保護のために充電できません。電源状態をご確認いただき、コンセントに直接つないだり、発電機の使用をやめる等して、電源状態を改善してください。

以上を確認・改善しても LED ランプ「オレンジ」が点滅し続ける時は、電池パックの寿命であるか、もしくは電池パックまたは充電器に異常があると考えられます。別に電池パックをお持ちの方は、電池パックを変えてお試してください。それでも LED ランプ「オレンジ」が点滅する場合は、すぐに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、電池パック、充電器両方を一緒に、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリーへ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

- 満充電した電池パックを再度充電器にセットすると再び LED ランプ「赤」が点灯することがありますが、故障ではありません。しばらくすると、満充電完了の「緑」点灯になります。
- 充電器には冷却ファンが内蔵されており、電池パック、充電器の温度に応じてファンが作動する場合があります。温度が下がればファンは自動的に停止します。
- 充電時間は周囲温度や電池パックの状態により長くなることがあります。
- 電池パックを連続で充電される場合は、充電時間が長くなることがあります。
- 一度充電が完了した後、次の充電まで充電器を 5 分程度休ませてください。

◆充電器・電池パックの故障について

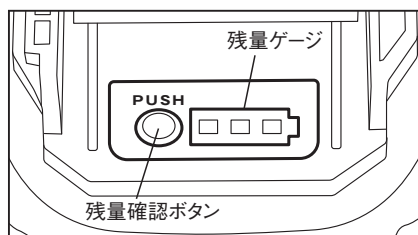
次のような状態のときは、充電器または電池パックに故障があると考えられますので、決してご自分で修理なさらないで、電池パック、充電器両方を一緒に、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

- ・ 充電器の電源プラグを AC100V のコンセントに差し込んでも、LED ランプ「赤」が点滅しない。(電池パックをセットしていない状態で)
- ・ 充電器に電池パックをセットしても LED ランプ「赤」も「オレンジ」も点灯点滅しない。
- ・ 電池パックが高温の場合に LED ランプ「オレンジ」点灯後、1 時間以上たっても LED ランプ「赤」が点灯しない。
- ・ LED ランプ「赤」が点灯後、90 分以上しても LED ランプ「緑」点滅に切り替わらない。






◆電池残量表示について

電池パックは充電中と充電工具の運転中を除き、いつでも電池残量を確認することができます。

- ①電池残量を確認したい時（充電中または充電工具運転中以外）に、残量確認ボタンを押してください。



- ②その時の電池残量に応じて、残量ゲージが点灯します。

	電池残量 0%	電池残量 約0~10%	電池残量 約10~40%	電池残量 約40~70%	電池残量 約70~100%
電池残量の表示方法	 全て消灯	 1個 点滅	 1個 点灯	 2個 点灯	 3個 点灯

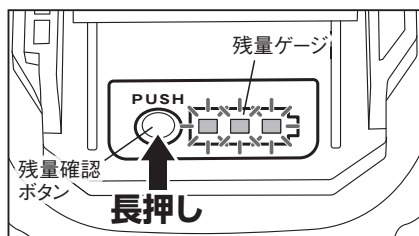
注

- 充電終了直後や工具の運転直後は、残量確認ボタンを押しても残量が正しく表示されません。
- 残量表示はあくまで目安です。作業負荷や周囲温度によって残量が正しく表示されない場合がありますが故障ではありません。
- 表示される残量表示は、残量表示機能のある機械側の残量表示と同じ表示にはなりません。あくまで目安とお考えください。
- 表示される電池残量は、満充電完了した時に充電された容量を基準にしています。例えば、新品の電池パックと長期間の使用等により劣化した電池パックを比較した場合、同じ30%の電池残量であっても、そこからの作業量は異なります。
- 満充電完了前に電池パックを充電器から抜くと、1秒程度残量ゲージが点灯することがありますが、故障ではありません。
- 電池パックの端子が濡れた状態で残量確認ボタンを押すと、残量ゲージが左から右へ流れて点灯します。この表示となった時には必ずしっかり乾燥させてから使用を再開してください。

◆ 静音ソフト充電機能について

電池パックには、冷却ファンを運転させずに静かに充電する静音ソフト充電機能があります。

- ① 電池パックの残量確認ボタンを3秒間長押ししてください。
- ② 残量ゲージが5秒間全点滅しますので、その間に電池パックを充電器にセットしてください。
- ③ LEDランプ「赤」・「オレンジ」が点灯し、静音ソフト充電を開始します。



※ 実用充電完了、満充電完了の合図は、急速充電時と同様です。

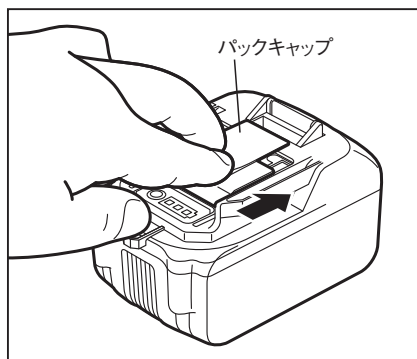
注

- 充電時間は常温状態で急速充電のおよそ2倍です（条件により充電時間は異なります）。
- 連続使用後や夏場の直射日光などにより電池パック及び充電器が極端な高温状態の場合、電池保護のため冷却ファンが回る場合があります。
- 電池残量が完全になくなった状態では、残量ゲージが点滅せず、静音ソフト充電はできません。

◆電池パックを長持ちさせるために（保管方法）

⚠ 警告

- 使用後は、本機・充電器から電池パックを取り外し、短絡（ショート）防止用のパックキャップを電池パック端子部にかぶせて保管する。



注

- 工具を使用した直後の電池パックは、放熱させてから充電する。
すぐに充電すると電池パックの寿命が短くなります。
- 工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのはやめ、充電する。
無理して使いつづけると電池パックが傷み、寿命が短くなります。
- 夏季の自動車の車内や直射日光の当たる場所に放置・保管しない。
高温の場所に放置しますと電池パックの劣化の原因になります。理想的な保存環境は10℃～30℃の乾燥した暗所です。
- 使い切った状態のまま電池パックを保管しない。
充電が空の状態では長時間放置すると電池パックの故障の原因になります。使い終わったらすぐ充電してください。
- 電池パックを電動工具や充電器に装着したまま保管しない。
微弱な電流が流れつづけて、そのままにしておくと過放電状態になり電池パックの故障の原因になります。必ず電池パックを外して保管してください。

◆電池パックの寿命について

正しく充電しても使用回数が著しく低下した場合には、電池寿命がきたものとお考えいただき新しい電池パックをお買い求めください。

◆リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池及びリチウムイオン電池同梱品を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠ 警告

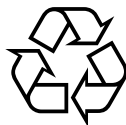
- 必ずパックキャップをかぶせる。
- リチウムイオン電池を輸送する場合には、個々の電池が触れないように分けて強固な包装で梱包する。
- リチウムイオン電池同梱製品を輸送する場合には、付属のキャリングケースに入れる。
- 輸送会社・航空会社に相談の上、適切な輸送方法で輸送する。

◆リチウムイオン電池のリサイクルについて

リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。寿命の尽きた電池パックは廃棄せずにお買い求めの販売店、もしくは最寄りのマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)へお持ちください。環境の保全と資源リサイクルにご協力をお願いいたします。

⚠ 警告

- 電池パックは短絡（ショート）防止のため、端子部（金属部）に必ずパックキャップをかぶせ（絶縁テープを巻いて）リサイクルに出す。



Li-ion

リチウムイオン
電池はリサイクルへ

◆電池パックの手入れ

電池パック、充電器の掃除にはから拭き、水またはぬるま湯で薄めた中性洗剤を湿らせた布をよく絞ってから表面を拭いてください。ガソリン、テレピン油、ペイント用シンナーなどの薬品は電池パック、充電器を傷めますので使用しないでください。電池パック、充電器内部に液体が入らないように、また、電池パック、充電器を液体に浸けないように十分注意してください。

◆各部取り付けねじの点検

電池パック、充電器のねじが緩んでいないか点検してください。もし、緩んでいたらマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じて点検をお申し付けください。

⚠ 警告

- 電池パックの点検・手入れの際は、必ず電池パックを充電器から外す。
電池パックを充電器に取り付けたまま行くと事故の原因になります。
- 充電器の点検・手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、コネクタを充電器本体から抜く。

◆作業後の保管

- 作業後は、高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子様の手の届く範囲や落下の恐れがある所は避けてください。充電器 JC-925 を保管、収納する際は、電源コードを抜いた状態で保管、収納してください。
- 電池パックを長持ちさせるために、長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合は、下記のことにご注意して保管してください。

注

- 充電してから保管する。
- 温度が 50℃以上の場所では保管しない。
- 20℃以下の場所では保管しない。
- 直射日光の当たる場所には保管しない。
- 結露するような温度変化の大きい場所での保管はしない。
- 湿度の高い場所に保管しない。
- 水を付着させない。
- 湿度の低い乾燥した場所で保管する。
- 運搬・移動時は落下や大きな振動を与えない。
- 短絡（ショート）を防ぐために金属物に接触させない。
- 電池パックは必ず本機・充電器から取り外してパックキャップを付けて保管する。

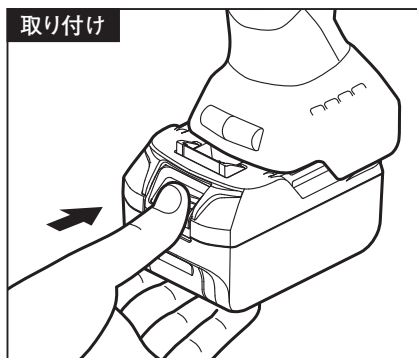
6 使用方法

◆電池パックの取り付け、取り外し方

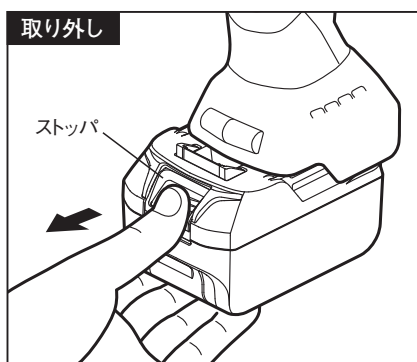
⚠ 警告

- 電池パックを本機に取り付け、取り外しをする際は、本機のスイッチが切れていることを必ず確認する。
- 使用前には、電池パックが本機に確実に取り付けられていることを必ず確認する。
不完全な状態ですと、作業中に電池パックが落下してけがなどする恐れがあります。

取り付けは、電池パックの溝を本機の溝に合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。



電池パックを本機から取り外すときは、正面にあるストッパを押し下げ、矢印方向にまっすぐ電池パックをスライドして取り外してください。



注

- マックス 14.4V 電池パック JP-L91440A、JP-L91430A、JP-L914 が取り付け可能ですが、本製品仕様の能力はできませんのでご注意ください。

◆砥石カバーの取り外し、取り付け

⚠ 警告

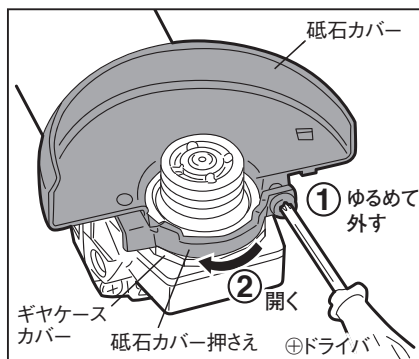
- 砥石カバーを交換するときは、必ずスイッチを切り、本体より電池パックを取外す。
不意な始動によるけがの原因になります。
- 砥石カバーは、必ず取り付けて使用する。
先端工具（砥石など）が破壊したとき、けがの原因になります。

(取り外し)

- ①砥石カバーのネジをお手持ちの⊕ドライバでゆるめて外します。
- ②砥石カバー押さえを開き、砥石カバーを取り外します。

(取り付け)

砥石カバー押さえを開き、砥石カバーをギヤケースカバーに合わせてはめ込み、⊕ドライバでネジをしっかりと締付けます。



注

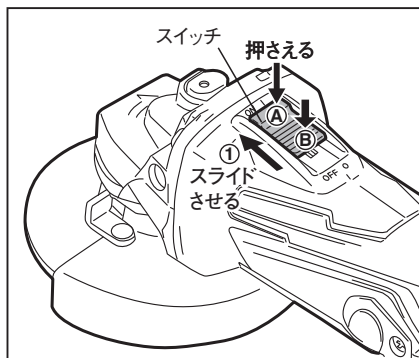
- 作業に適した角度に合わせてください。調整後は、ネジを確実に締付けてください。

◆スイッチ操作

⚠ 警告

- 本体に電池パックを差し込む前に必ずスイッチが切れていることを確認する。
不意な始動によるけがの原因になります。

- ・スイッチはスライド式です。
- ・スイッチを矢印①方向にスライドさせると入ります。放すとスイッチは切れます。
- ・スイッチを矢印①方向にスライドさせ、①部を押さえると、スイッチがロックされ、連続運転になります。
②部を押すと、ロックが解除されスイッチは切れます。

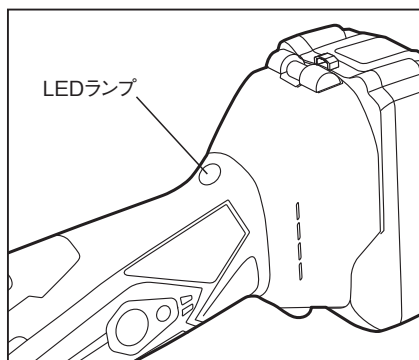


注

- スイッチを入れた状態で電池パックを挿入しても起動しません。LED ランプが点滅し、保護機能が働きます。(27 ページ『保護機能』参照)
- 一旦、スイッチを切って、再度スイッチを入れると起動します。

◆作業中本機が急に停止したら

本製品には、本機及びリチウムイオン電池を長くご使用していただくために下記のとときに制御回路が働いて工具が停止しますが、これは故障ではありません。



保護機能

状 況	表 示	対 応
●電池パックの電池が少なくなったとき	LEDランプが0.2秒毎に1分間点滅します。 ■ ■ ■ ■ ■	スイッチオフ後、電池パックを充電してください。
●本体に急激な負荷がかかったとき	LEDランプが1分間点灯します。 —————	スイッチオフすることで解除できます。
●電池パックが高温になったとき	LEDランプが1分間点灯します。 —————	スイッチオフ後、電池パックを十分に冷やしてからご使用ください。
●スイッチをオンのまま電池パックを取り付けたとき	LEDランプが交互に高速・低速を繰り返し1分間点滅します。 ■ ■ ■ ■ ■	スイッチオフすることで解除できます。

◆先端工具の取り付け、取り外し

⚠ 警告

- 別販売品などの先端工具の取り付け、取り外しのときは必ずスイッチを切り、本体から電池パックを取外す。

不意な始動によるけがの原因になります。

- 先端工具にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用する。

異常があると先端工具が破壊し、けがの原因になります。

- 砥石カバー（切断砥石カバー）を取り付けて使用する。

取り付けていないと、けがの原因になります。

- 保護メガネを着用し使用する。

保護メガネを着用しないで使用すると、先端工具の破壊や研削粉の飛散によるけがの原因になります。

- 無理な押し付けや砥石がロックするような高負荷状態で使用しない。

研削、切断時に高負荷作業や強く押し付けすぎるとモータに高い負荷がかかり、ギアケースカバー部やグリップ（ブラシ）が高温になることがあり、やけどや本体故障の原因になります。

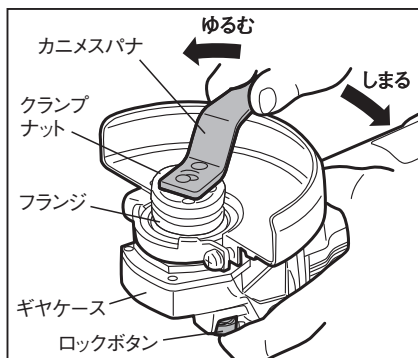
●レジノイド砥石（オフセット砥石）

用途：金属の研削、バリ取り、サビ取り用

（取り付け）

- ①ギヤケースに付いているロックボタンを押さえたまま、付属品のカニメスパナでクランプナットを矢印方向（ゆるむ）にゆっくりと回し、ロックが掛かる位置をさがします。

- ②ロックが掛かったところで、ロックボタンをしっかりと押さえてください。カニメスパナを矢印方向（ゆるむ）に回し、クランプナットを外します。



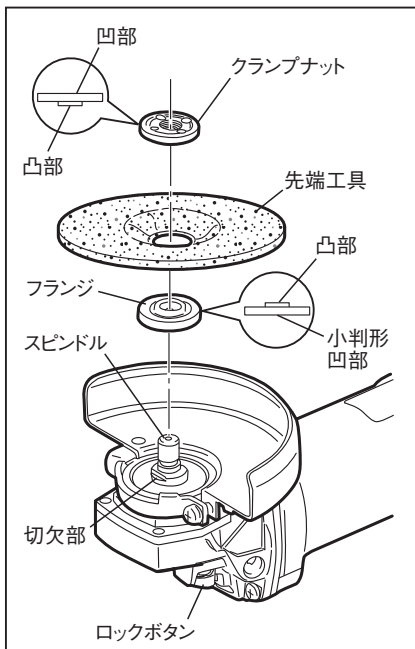
③フランジの小判形凹部をスピンドルの切欠部に合わせて取り付けます。(取り付け後、フランジを回してスピンドルと一緒に回ることを確認してください。)

④先端工具をフランジの凸部に合わせて取り付けます。

⑤先端工具の上からクランプナット(凸部が先端工具側)を取り付けます。

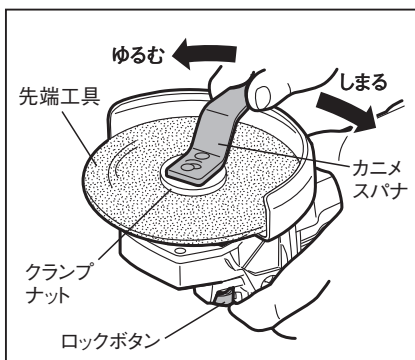
注

●市販品の先端工具を利用する場合、固定できない場合があります。厚みが3mm以下の先端工具は、クランプナットをイラストと逆(凹部が先端工具側)に取り付けてください。



⑥ロックボタンを押してスピンドルを固定し、カニメスパナでクランプナットを十分に締付けます。

⑦ロックボタンを押さえていた手をゆるめ、ロックボタンがもとの位置に戻り、先端工具が手で回せることを確認してください。先端工具を回すことにより、スピンドルの固定が解除されたことを確認できます。



(取り外し)

取り外しは、ロックボタンを押さえて先端工具を矢印方向(ゆるむ)にゆっくり回してロックが掛かる位置をさがします。ロックが掛かったところで、ロックボタンをしっかりと押さえ、カニメスパナでクランプナットをゆるめて外し、先端工具を取り外します。

●切断砥石、切断砥石カバー（別販売品）

用途：金属（鉄、ステンレスなど）の切断に。

（取り付け）

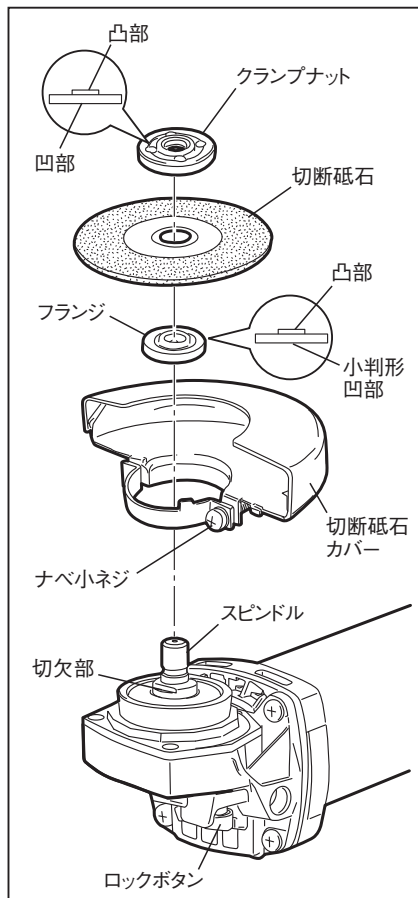
注

●切断砥石を使用するときは、切断砥石専用の切断砥石カバー（別販売品）に替えて使用してください。

- ① ナベ小ネジをゆるめて、砥石カバーを切断砥石カバーと交換します。
（25 ページ「砥石カバーの取り外し、取り付け」参照）
- ② フランジの小判形凹部をスピンドルの切欠部に合わせて取り付けます。（取り付け後、フランジを回してスピンドルと一緒に回ることを確認してください。）
- ③ 切断砥石をフランジの凸部に合わせて取り付けます。
- ④ 切断砥石の上からクランプナット（凹部が切断砥石側）を取り付けます。
- ⑤ ロックボタンを押してスピンドルを固定し、カニメスパナでクランプナットをしっかりと締付けます。

（取り外し）

取り外しは、29 ページの取り外し方法と同様に取り外します。



◆作業方法

⚠ 警告

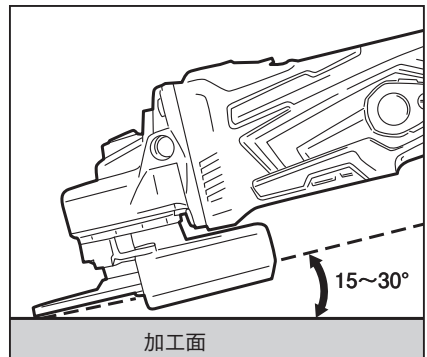
- 砥石カバー（切断砥石カバー）は、必ず取り付けて使用する。
先端工具（砥石など）が破壊したとき、けがの原因になります。
- 先端工具（砥石など）にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用する。
異常があると先端工具（砥石など）が破壊し、けがの原因になります。
- 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざける。また、研削火花が直接手足などに当たらないようにする。
火災ややけどの原因になります。
- 使用中は、振回されないよう本体を確実に保持する。特に始動時は気をつける。
確実に保持していないと、けがの原因になります。

⚠ 注意

- 先端工具（砥石など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
確実にないと、外れたりし、けがの原因になります。
- 使用後はスイッチを切って、先端工具（砥石など）の回転が完全に止まってから本機を置いてください。回転が止まらないうちに置くことは危険です。また切粉やごみの多い場所に置くと、切粉やごみを吸込むことがありますので注意してください。

●研削作業

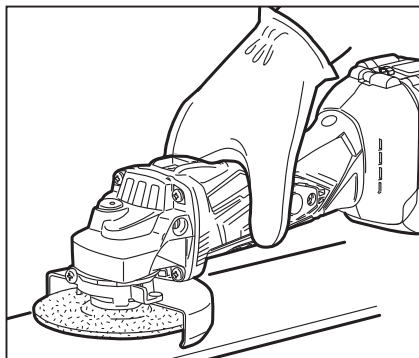
先端工具（砥石など）が材料に触れない位置でスイッチを入れてください。スイッチを入れてモータの回転が十分に上がってから、加工する位置に回転する先端工具（砥石など）を軽くあてて研削します。



注

- あまり強く押しあてて研削すると、モータの回転が落ちて効率が悪いだけでなく、モータ焼けの原因になります。また、研削面も粗くなり、きれいに仕上がりにません。

加工する面に対して、先端工具（砥石など）を15～30°に傾けて使用すると、効率のよい研削ができます。



●切断作業

⚠ 警告

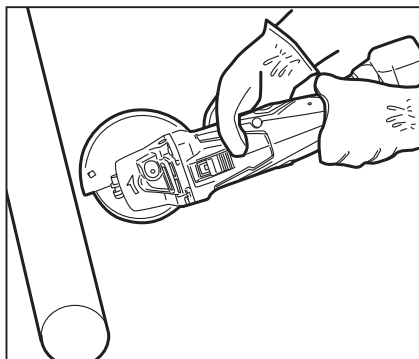
●切断中に本機を強く押し過ぎたり、先端工具でこじったりしない。

モータに無理がかかるばかりでなく本機自体に強い反発力を生じ、けがの原因になります。

先端工具（切断砥石）が材料に触れない位置でスイッチを入れてください。

スイッチを入れてモータの回転が十分に上がってから、本機をしっかりと保持して、切断する位置に回転する先端工具（切断砥石）をゆっくりと押し当て切断します。

切り終わるまでこの状態を保ってください。



注

- あまり強く押しあてて切断すると、モータの回転が落ちて効率が悪いだけでなく、モータ焼けの原因になります。また、切断面も粗くなり、きれいに仕上がりにません。

◆本機の手入れ

! 警告

- 本機の点検・手入れの際は、必ず電池パックを本体から外す。
電池パックを本機に取り付けたまま行くと事故の原因になります。
- 充電器の点検・手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

◆各部取り付けねじの点検

ネジなどのゆるみがないか、確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●本体外部の清掃

本機の清掃にはから拭き、水またはぬるま湯で薄めた中性洗剤を湿らせた布をよく絞ってから表面を拭いてください。ガソリン、テレピン油、ペイント用シンナーなどの薬品は本機を傷めますので使用しないでください。

◆作業後の保管

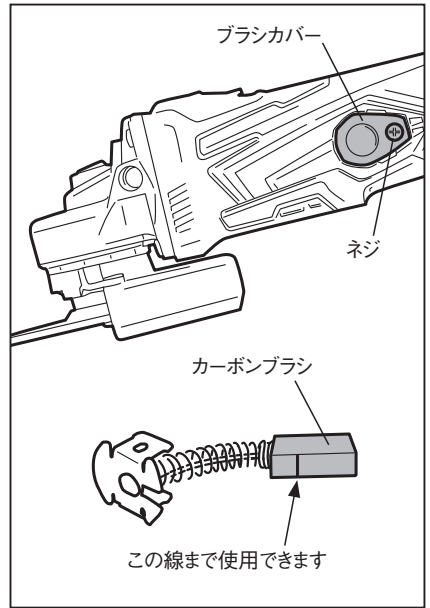
- 作業後は、高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子様の手の届く範囲や落下の恐れがある所は避けてください。
- 電池パックを長持ちさせるために、長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合は、下記のことに注意して保管してください。

注

- 充電してから保管する。
- 温度が 50℃以上の場所では保管しない。
- 20℃以下の場所では保管しない。
- 直射日光の当たる場所には保管しない。
- 結露するような温度変化の大きい場所での保管はしない。
- 湿度の高い場所に保管しない。
- 水を付着させない。
- 湿度の低い乾燥した場所で保管する。
- 運搬・移動時は落下や大きな振動を与えない。
- 短絡（ショート）を防ぐために金属物に接触させない。
- 電池パックは必ず本機・充電器から取り外してパックキャップを付けて保管する。

◆カーボンブラシについて

- 本機はモータ部に消耗品のカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシは全長の1/3（線の入った位置）程度に摩耗したら新しいカーボンブラシと交換してください。短くなったカーボンブラシをそのまま使用すると、火花が大きくなり、モータ焼損の原因となる場合があります。
- ネジをお手持ちのドライバでゆるめてブラシカバーを取り外し、カーボンブラシを取出してください。
- カーボンブラシは2個1セットです。交換するときは指定のカーボンブラシを使用し、2個とも同時に交換してください。この時、カーボンブラシがブラシホルダ内でスムーズに動くことを確認してください。



◆修理について

本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。



保証、アフターサービスについて

【保証について】

- 本機には保証書（外箱スリーブに添付）がついています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 本機の基本保証期間はご購入日より1年間です。
※電池パック、スイッチ、フランジ、カーボンブラシ等の内部部品は消耗品のため保証対象外です。

【アフターサービスについて】

- 本機の修理、メンテナンス、調整は純正部品を使用して行わなければなりません。決してご自分で修理なさらないで、本機の性能回復に十分な技術と設備を有するマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてご相談ください。修理の知識や技術のない方が修理を行いますと、事故やけがの恐れがあります。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。

— MEMO —

A series of 20 horizontal dashed lines for writing.



本社・営業本部 〒103-8502 中央区日本橋箱崎町 6-6 TEL(03)3669-8121(代)

支店・営業所

札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121(代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL(019)621-3541(代)
新潟営業所	〒955-0081	三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2112(代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町 6-6	TEL(03)3669-8118(代)
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町 5-17-19	TEL(042)528-3051(代)
群馬営業所	〒370-0031	高崎市上大類町 4-1-2	TEL(027)353-7075(代)
長野営業所	〒399-0033	松本市笹賀 8-1-5	TEL(0263)26-4377(代)
関東営業所	〒300-0811	土浦市上高津 9-1-5	TEL(029)835-7322(代)
千葉営業所	〒284-0001	四街道市大日 1-8-70	TEL(043)422-7400(代)
名古屋支店	〒462-0819	名古屋市北区平安2-4-87	TEL(052)918-8619(代)
静岡営業所	〒420-0067	静岡市葵区幸町 2-9-1	TEL(054)205-3535(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1-3-18	TEL(06)6444-2035(代)
滋賀営業所	〒612-8414	京都市伏見区竹田段川原町 195	TEL(075)645-5061(代)
神戸営業所	〒650-0017	神戸市中央区楠町 6-2-4	TEL(078)367-1580(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音 7-11-24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田 1-5-1	TEL(092)411-5416(代)
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町 3-24	TEL(099)269-5347(代)

販売関係会社

埼玉マックス(株)	〒331-0823	さいたま市北区日進町 3-4-21	TEL(048)651-5341(代)
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘 7-6	TEL(045)364-5661(代)
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸 2-15	TEL(076)240-1873(代)
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市北区野田 3-23-28	TEL(086)246-9516(代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町 761-3	TEL(087)866-5599(代)
松山駐在所	〒790-0036	松山市小栗 6-1-22 第1白石ビル1F	TEL(089)913-1893(代)

マックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)

本社・高崎サービスステーション	〒370-0031	高崎市上大類町 4-1-2	TEL(027)350-7820(代)
埼玉サービスステーション	〒331-0823	さいたま市北区日進町 3-4-21	TEL(048)667-6448(代)
札幌サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487(代)
仙台サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0778(代)
名古屋サービスステーション	〒462-0819	名古屋市北区平安2-4-87	TEL(052)918-8624(代)
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1-3-18	TEL(06)6446-0815(代)
広島サービスステーション	〒733-0035	広島市西区南観音 7-11-24	TEL(082)291-5670(代)
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田 1-5-1	TEL(092)451-6430(代)

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料)0120-228-358

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

